

認定証の交付式を終え、記念撮影する島袋市長と
県やJAおきなわの関係者



7月15日、うるま市が県内6番目となるマンゴーの拠点産地として認定されました。同日、沖縄市にあるJAファーマーズマーケットうまんちゅ市場において認定証の交付式が行われました。県の比嘉俊昭農林水産部長から島袋市長へ認定証が手渡されました。島袋市長は「マンゴーは、さとうきびや花卉に次ぐ市の経済を支える有望作物として考えている。関係機関と連携し、安定的な栽培と品質向上を図り、農家所得の向上に努めたい」と挨拶しました。

「定時・定量・定品質」で安定的出荷を目指す
マンゴー拠点産地認定証交付式

青少年の健全育成を支援

うるま市民総決起大会開催

夏休みを目前に控え、増加する青少年の夜遊びや深夜はいかいを防ぐことを目的に7月2日、「青少年の深夜はいかい防止」・「未成年者飲酒防止」県民一斉行動うるま市民総決起大会が、市民芸術劇場で行われました。大会では、中学、高校、保護者の各代表者による意見発表のあと、「家族のふれあいを深め、明るく楽しい家庭づくりに努めよう」「青少年が目標を持ち、自主・自立の精神を養うよう支援しよう」などの大会宣言が読み上げられ採択されました。



多くの関係団体が参加して行われた大会の様子

ボランティアを通して、食育の推進に貢献

2010年度食育推進ボランティア表彰受賞報告

うるま市食生活改善推進協議会（神田順子会長）が、ボランティア活動を通して食育推進に貢献しているとして、「2010年度食育推進ボランティア表彰（内閣府主催）」の受賞団体として選ばれました。

同表彰には、64の個人・団体による食育ボランティア活動事例が推薦され、その中から10団体が優秀事例として選考されています。6月28日、同協議会のメンバーが市役所を訪れ、島袋市長に受賞の喜びを報告しました。



受賞報告に市役所を訪れた市食生活改善推進協議会のメンバー